# 第62回電子情報化委員会　議事録

日時：2014年11月25日（火）15:00～17:00
場所：JCI 12F 会議室
出席者：甲斐委員長，八十島幹事，荒金，上田，大塚，小川，坂下，高橋，土屋，中村，永吉，
　　　藤本，宮島，吉岡，渡邊，各委員，（事務局）井上，戸口
資料
62-0：電子情報化委員会（第62回）議事次第
62-1：第61回電子情報化委員会議事録（案）
62-2：電子情報化委員会名簿
62-3：会員専用ページの利用者数

議事記録
1. 前回委員会議事録（案）の確認（八十島幹事，資料62-1）
　第61回議事録（案）が了承された。

2. 登録者・利用者数について（八十島幹事，資料60-3）
- メールニュースの登録者数は，10052名（会員4706名，非会員5346名）であった。
- 会員専用ページ利用者数は3358名で，累計利用率は46.8%であった。

3. IT委員会の年間活動計画
HP更新担当者，コンテンツ，原稿形式などについて議論した。
- 年間（6月，8月，10月，12月，2月，4月）の更新担当を決定した。6月の主担当は，2015年1月にページ構想案，3月に原稿案，5月にページ内容の確認という日程でHP更新を行う。6月以降の更新もルーチン化されるまでは同様なスケジュールで行う予定である。

| 更新年月 | 主担当 | | 副担当 | |
|---|---|---|---|---|
| 2015年 6月 | 西岡 | 藤本・坂下・中村 | 小川 | 橋本 |
| 2015年 8月 | 荒金 | 上田 | 永吉 | 渡辺 |
| 2015年10月 | 大塚 | 土屋 | 宮島 | 大窪 |
| 2015年12月 | 小川 | 橋本 | 6月担当新任委員 | 6月担当新任委員 |
| 2016年 2月 | 永吉 | 渡辺 | 8月担当新任委員 | 8月担当新任委員 |
| 2016年 4月 | 宮島 | 大窪 | 10月担当新任委員 | 10月担当新任委員 |

- 主担当と副担当は原則2名ずつとする。副担当は，作業の引き継ぎや効率性を考慮したサポート役として，主担当になる半年前に担当するものとする。
- 軌道に乗るまでは，2ヶ月に1回くらいの頻度でIT委員会を開催する。ルーチン化されれば，委員長，副委員長，主担当，副担当の間でメール審議し，原稿とページの最終確認を全委員

で行い，できる限り簡略化していく予定である。

- ページ内容は一般向けと専門家向け（会員限定）のどちらでも構わないが，会員にメリットがありそうなページのときは，会員専用ページで公開することとする。ページの位置付けおよび公開場所は，原稿内容に基づき担当者が判断し，IT 委員会の承認を得るものとする。なお，現状 HP の修正・改善については，次回委員会までに具体的な問題点および改良点を提案する。
- ページの原稿および更新手順は，第 61 回委員会の資料 61-3 に基づき，原稿形式は A4 一枚程度の word ファイルにタイトルと文章（表も含む）を書き，写真（jpeg 形式，png 形式）と動画（mpeg 形式，mov 形式）は別ファイルとする。
- 会誌と同じように，投稿募集，特集号テーマ募集，掲載記事についての質問・意見，その他の感想など HP への提案・質問・意見を受け付けるページを作成する。
- ページ更新が予算内で収まるように，テンプレートなどを活用して効率的なシステムや枠組みを構築する。
- コンテンツの責任および文責については，会誌と同様な形式を準備し，場合によっては執筆要領を用意する。
- コンクリート基本技術調査委員会の報告書を基に，会員向け（専門家向け）ページ案を検討し，手間をかけないような形で具体的な案を提案する。また，基本技術調査委員会の十河委員長と再度話し合いを設け，ページ案を調整する。
- 6 月のページ更新の構想案としては，会誌アンケート（2014 年 1 月～12 月）に基づく人気記事 TOP 10 or 5 を紹介するページとする。会誌の pdf ファイルは，非会員（一般向け）に対して 1 年間公開していないため，会員のメリットが出せそうである。【担当 : 藤本・坂下・中村】
- 来年度の追加委員 7 名（ゼネコン建築，ゼネコン土木，官庁，鉄道，骨材，セメント，セメント製品）の推薦依頼を理事会に提出する。

4. メールニュース

- メールニュース担当は，1 月 : 渡辺委員，2 月 : 上田委員，3 月 : 大塚委員，4 月 : 小川委員，5 月 : 永吉委員とする。

5. 次回および次々回の日程

- 2015 年 1 月 20 日（火）15:30～18:30 に開催予定。
- 2015 年 3 月 26 日（木）14:00～17:00 に 50 周年記念事業と合同で開催予定。

以上